

意見交換内容

ア シルバードライビングスクールに参加することはできますか。(高橋委員)

【回答～交通課長】

シルバードライビングスクールは、対象地区で年に1回開催しており、郡上自動車学校で実施しています。今年の10月に当署へ連絡していただければ参加していただくことはできます。

イ 今年1月に能登半島で地震が発生しましたが、テレビで救助犬が活躍しているのを見ましたが、岐阜県で大規模な地震が起きれば家屋の倒壊が予想されますが、警察犬は来てもらえるのですか。(佐藤委員)

【回答～署長】

岐阜県は、警察犬については外部へ委託しており、必要がある時は本部鑑識課へ要請します。一方災害救助犬は、警察犬とは違い人間の呼気に反応する訓練をしています。数は少ないですが、県警でも有事の際には迅速に出動できるよう準備を進めています。今後どんどん増やしていくのが課題になると思います。

ウ 110番の家がどこにあるのか子供たちがもっと知っているといいと思いますが、どういう人が登録してあるのですか。(光藤委員)

【回答～署長】

110番の家については、小学校付近の飲食店等を選定しています。110番の家の説明については、今後小学校の講話等に取り入れていきます。

エ 昨年の郡上署の交通事故の状況や交通事故の起こりやすいシーズンについて教えてください。(小林委員)

【回答～交通課長】

昨年の郡上署の人身事故は、42件で、負傷者は58名です。人身事故については、診断書が提出されると上下しますが、総合交通事故件数は減っています。交通事故が減っているのは、広報等の結果だと思えます。交通事故は、新年度時期は、子供の飛び出し、ゴールデンウイーク時期は、バイクの事故、夏場は正面衝突の事故、冬場は、スリップ事故が多い旨説明。

オ 11月に他県の人が、交通事故を起こしているのを見ましたが、道を知らないと交通事故を起こしてしまうので、壁等に反射板等があるとうれしいですし、道路にセンターラインを引いてほしいです。(駕谷委員)

【回答～交通課長】

反射板の設置やセンターラインを引くことについては、予算の関係があるのでなかなか難しい部分がありますが、交通事故が多い場所については、やらせてもらっています。土木事務所も狭い道路については、拡充しようとしています。

カ インバウンドで外国人労働者が増えてきましたが、警察はどうやって接しているのですか。(山畑委員)

【回答～署長】

郡上市内には、多くの技能実習生がみえますが、外国人の方は文化や風習が違いますので、警察では外国人総合対策の一環として事業所の方と連携して日本の風習に従うように講和等を実施しています。日本で安心して暮らせるように企業と連携を深めています。